

初の国体切符に王手

水球女子・石川

北信越国体水球第1日(3日・金沢プール)県勢は今年から国体の正式種目に採用された女子で石川選抜が新潟選抜に10-9で競り勝ち、初出場に王手をかけた。少年男子の金市工高は上田東高(長野)に34-11、新潟産大附高に15-0で快勝した。

金市工も2勝好発進

少年男子は4チーム、女子は3チームのリーグ戦で行われ、ともに茨城国体(9月13〜16日)の出場枠は1。最終日の4日は、少年男子の金市工高が同じく2勝を挙げた富山選抜と対戦し、女子の石川選抜がこの日試合がなかった富山選抜と戦う。

金市工高	34	15
富山選抜	6	8
新潟産大附高	8	11
上田東高	4	2
富山選抜	10	5
新潟産大附高	3	4
上田東高	2	9
富山選抜	10	9
新潟産大附高	3	2
上田東高	2	3
富山選抜	10	9
新潟産大附高	3	2
上田東高	2	3
富山選抜	10	9
新潟産大附高	3	2
上田東高	2	3

薄氷勝利浦「ほつ」チーム最多6点

残り1分34秒決勝点 GK寺田守り切る



女子の石川選抜は薄氷の勝利だった。チーム最多の6得点を挙げた浦映月は「ほつとした感じ。勝ててよかったです」と安堵した。

第3ピリオドで最大4点あったリードは第4ピリオドで同点となった。残り1分34秒で浦が勝ち越しのペナルティースローを決め、その1点をGK寺田真心花らが最後まで守り抜き、勝利を決めると会場から歓声が上がった。高校生、大学生、社会人で構成されるチームで合同練習は2度のみ。主将で日本代表の徳用万里奈は「連携は悪くなかった。きょうは90点。あした勝って100点にしたい」と笑った。



女子・石川選抜の浦が決勝のペナルティースローを決める
＝金沢プール



好セーブを見せた女子・石川選抜のGK寺田